



第74期

事業のご報告

2023年4月1日から2024年3月31日まで



ホクシン株式会社

証券コード7897

HOKUSHIN REPORT



株主の皆様へ

「木と向き合い、未来を拓く」をスローガンにサステナビリティ経営に取り組みます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

能登半島地震により被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当社は中期経営計画（H-CHALLENGE 2025）の2年目に入りました。

住宅市場においては、当社MDF製品の特長を生かし、均質でより高強度な耐力壁、高い透湿性で腐朽を防ぎ耐久性向上に寄与する屋根下地、施工中の雨掛かりに対しても乾燥が早く工期延長を回避する床下地などとして用途の拡大供給を展開中です。



また、サステナブルな社会に貢献し、自らもサステナブルな事業であり続けるため、これまで主供給先であった戸建て住宅用途のみでなく、木造化の進行が始まった商業施設、オフィスビル、マンションなど中大規模建築へのMDF製品の供給に引き続き挑戦して参ります。

これらの新たな展開のため、所属工業会を通じての規格改定、建築基準法に基づく告示の改正、MDF利用による炭素貯蔵量の算定など、より広く使われる材料とするための基盤づくり進行中です。

木質資源の有効利用を軸に、パームヤシ廃幹材の利用、廃衣料繊維のリサイクル利用などをも行うことによりSDGsの一翼を担って参ります。

今後とも格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

高橋英明

中期経営計画（第74期～第76期）ご報告

2024年度は、中期経営計画（H-CHALLENGE2025）の2年目となります。

当社と関係の深い住宅業界におきましては、インバウンド需要や賃金上昇による国内景気の回復が期待されるものの、住宅価格の高騰や、住宅ローン金利の上昇懸念により、新設住宅着工戸数は低迷が続くと予測されます。また、今後は2024年問題による物流コストの上昇、建設現場の人工不足が更なる新設住宅着工戸数の減少をもたらす懸念があります。

そのような状況下ではありますが、当社としては2023年度よりスタートした中期経営計画（H-CHALLENGE2025）において掲げた重点施策を重点課題として捉え、2025年度の最終目標達成に向けて今後より一層努力してまいります。

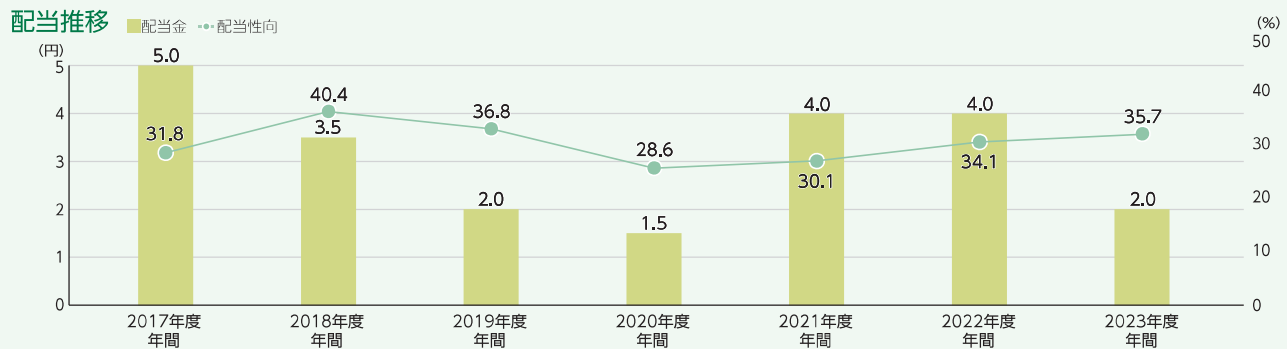
この結果、当事業年度の売上高は109億79百万円（前年同期比14.8%減）、営業利益は1億26百万円（同74.1%減）、経常利益は1億90百万円（同61.1%減）、当期純利益は1億58百万円（同52.2%減）となりました。

また、当社の重視する経営指標であるEBITDAは5億14百万円となり、ROICは1.4%となりました。

中期経営計画：目標とする経営指標

	2023年度 実績	2025年度 目標
営業利益（百万円）	126	612
EBITDA（百万円）	514	1,090
ROIC（%）	1.4	3.9

配当方針



配当性向は25%以上を維持し、株主還元の充実と財務の安定化を図ります。

トピックス

建材開発

令和4年（2022年）に国土交通省の「住宅生産技術イノベーション促進事業」において、当社が応募した「木質繊維の高密度化による建築部材の開発と工法の検討」が採択されました。最終年度の本年も労働力人口減少という社会課題の解決に向けて活動に取り組んでいます。

補助事業の趣旨は、いわゆる建設業の2024年問題への対応、すなわち住宅・建築物の設計・施工・維持管理等に係る「生産性向上」にあります。

これを実現するにあたり、ホクシンは「炭素固定」の観点を加え、MDFをより高密度化する選択をし、全く新たな素材「積層MDF」の開発と実証に取り組むことにしました。

昨年度の成果として、厚さ4.5mmの板を2枚、接着剤で貼り合わせた9mmの積層MDFと特注ねじとの組み合わせにより、壁倍率7相当の高い壁倍率が実現可能であることを実証しました。その上、非常に少ないねじの本数※でこれを実現しており、大幅な施工時間短縮による生産性向上が期待できる結果でした。

ただし「積層MDF」はJIS規格すらない、新たな材料のため、市場投入までにはまだまだ超えなければならない多くのハードルがあります。

上記の結果は、積層MDFの一側面にすぎません。最終年度の今年は早期の実用化を目指し注力してまいります。

※通常の構造用MDFを用いた告示仕様のくぎ本数との単純な本数比較で約7割削減。



エンゲージメントサーベイ/女性活躍推進

2030年に向けた“Sustainability Vision 2030 木と向き合い、未来を拓く”の実現に向けてサステナビリティ重要課題に取り組んでいます。

その中の一つである人材戦略「持続可能なモノづくりを支えるヒトづくり」の施策として、2023年10月に全従業員を対象とした「エンゲージメントサーベイ・女性活躍推進の意識調査」を実施しました。調査結果を参考に、よりよい職場づくりのために活用していきます。

安全衛生活動

2024年4月1日より安全衛生推進室を新たに設置しました。

「安全はすべてに優先させる 災害ゼロへ」を活動方針として掲げ、社員の安全と衛生を主体的かつ能動的に働きかけ推進してまいります。

～安全はすべてに優先させる 災害ゼロへ～

安全意識向上への教育、啓蒙を促す

- ・リスクアセスメントの習慣化・充実を図る
- ・外部コンサルタントや専門家からの有益な助言を受け入れる

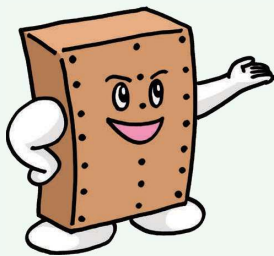
各職場の有害因子・衛生リスクを取り除く

- ・化学物質の自律的管理、保護具の知識向上を図る
- ・作業環境の適切な管理を促す

重点
目標

ウェブサイトのご案内

皆様にホクシンをより身近に感じていただくために、ホームページに「ホクシンメディア」を開設しております。社内の操業の様子、MDFや木材・木質材料に関する知見、社内イベントなど様々な情報を掲載しています。毎月最新の記事を投稿しておりますので、是非ご覧ください。



ウェブサイト「ホクシンメディア」は
こちらから

<https://www.hokushinmdf.jp/media/>



— ホクシンメディア —



2024/05/13

「大阪大学フォーミュラレーシングクラブ (OFRAC)」に協賛させていただいております

OFRACはレーシングカーを1から設計、製作されているサークルです。毎年開催される学生フォーミュラ日...

SDGs



2024/04/01

社内改善活動＜控室の改装＞

目次 控室の改装前 ミーティングテーブルの作製 壁板の貼り付け 完成 今後 控室の改装前 ホクシンの...



2024/03/07

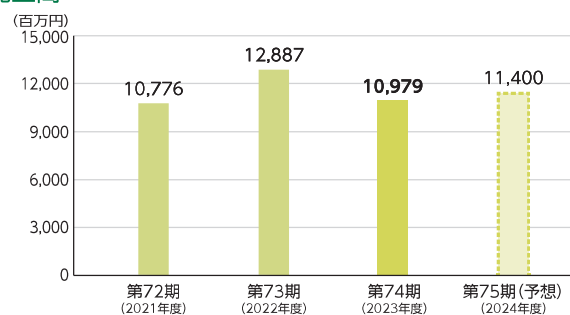
泉州エリア高校生向けオープンファクトリーイベントに参加

泉州エリアで開催された地域一体型の「泉州オープンファクトリー」イベントに参加しました。このイベントは、...

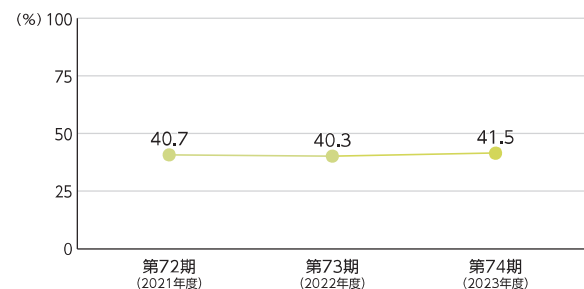
SDGs

業績ハイライト

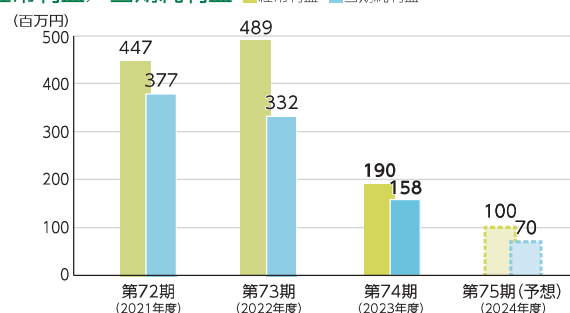
売上高



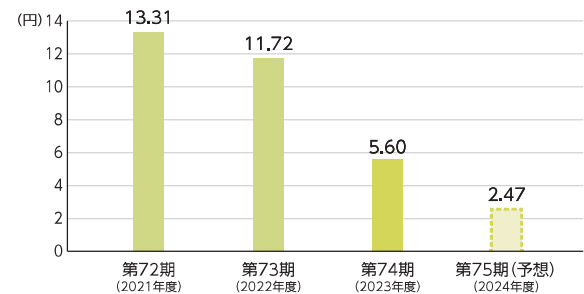
自己資本比率



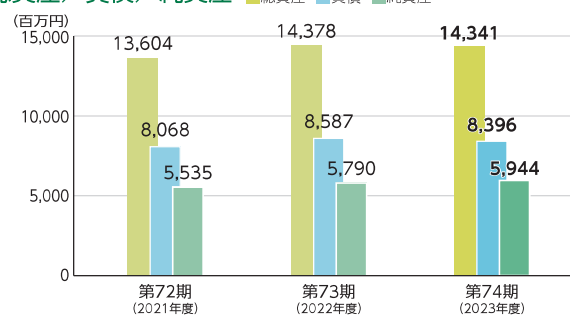
経常利益／当期純利益



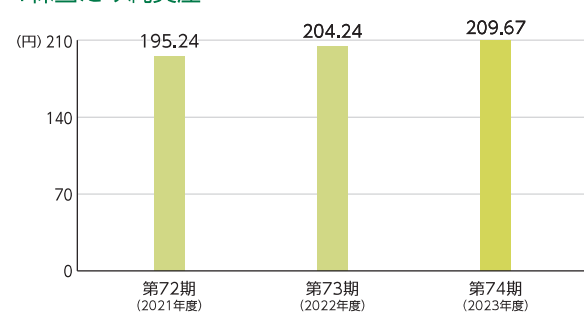
1株当たり当期純利益



総資産／負債／純資産



1株当たり純資産



会社の概要と株式の状況 (2024年3月31日現在)

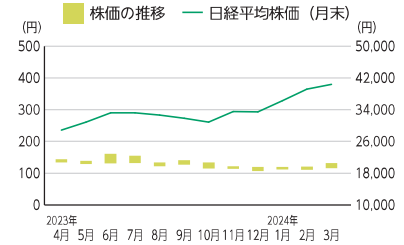
会社概要

設 立 1950年6月21日
 資 本 金 2,343百万円
 本 社・工 場 〒596-8521
 大阪府岸和田市木材町17番地2
 事 業 MDFの製造及び売買
 主要取引先 兼松ケミカル株式会社
 双日建材株式会社
 SMB建材株式会社
 大建工業株式会社
 丸玉木材株式会社
 TWH TRADING株式会社

株式の状況

発行可能株式総数 99,713,700株
 発行済株式の総数 28,373,005株
 (自己株式20,767株を含む)
 単元株式数 100株
 当期末株主数 6,236名
 (前期末比52名減)

株価の推移



役員 (2024年6月21日現在)

代 表 取 締 役 高 橋 英 明
 取 締 役 寺 田 恭 久
 取 締 役 廣 田 昌 俊
 取 締 役 永 田 武 生
 取 締 役 田 中 一 生
 取 締 役 太 田 勲
 取 締 役 澤 由 美
 (注) 1. 取締役 永田武、田中一生、太田勲、澤由美の4氏は、社外取締役であります。
 2. 取締役 田中一生、太田勲、澤由美の3氏は、監査等委員であります。
 3. 取締役 田中一生、太田勲、澤由美の3氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。

執行役員

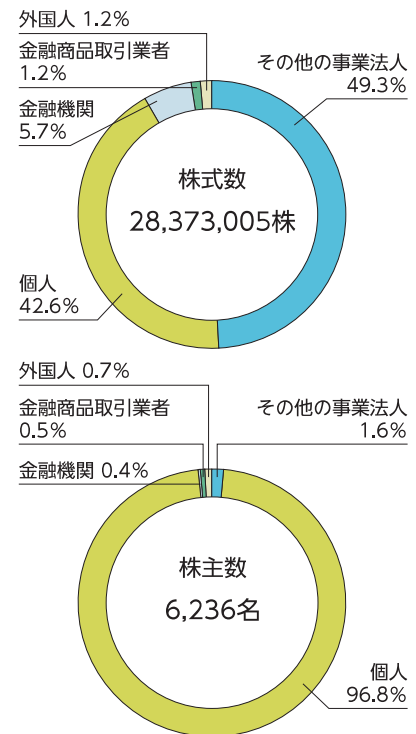
社 長 執 行 役 員 高 橋 英 明
 上 席 執 行 役 員 寺 田 恭 久
 上 席 執 行 役 員 廣 田 昌 俊
 執 行 役 員 池 本 輝 男
 執 行 役 員 池 田 茂
 執 行 役 員 日 下 部 大 典

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
兼 松 株 式 有 限 公 司	7,522	26.53
大 建 工 業 株 式 有 限 公 司	4,227	14.91
ホクシン取引先持株会	1,008	3.56
永大産業株式会社	1,000	3.53
酒 井 佐 知 子	728	2.57
國 分 節 子	710	2.51
中 島 和 信	542	1.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	432	1.53
株式会社池田泉州銀行	430	1.52
米 島 清 生	387	1.37

(注) 持株比率は、自己株式(20,767株)を控除して計算しております。

所有者別分布表



株式に関する手続きについて

株式に関する手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

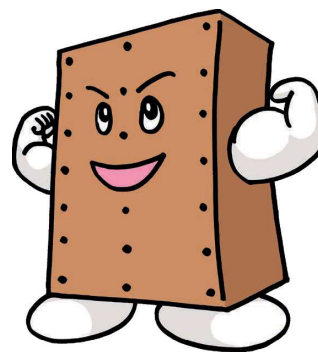
証券会社の口座に記録された株式		
お手続き・ご照会の内容	お問い合わせ先	
●単元未満株式の買取請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社	
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座に記録された株式		
お手続き・ご照会の内容	お問い合わせ先	
●単元未満株式の買取請求 ●特別口座から証券会社の口座への振替請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●配当金の受領方法・振込先のご変更	特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	

(お問い合わせ先)
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	(1)定時株主総会・期末配当 3月31日 (2)中間配当 9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定める。
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	当社の公告はホームページに掲載する。 ホームページアドレス https://www.hokushinmdf.jp
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード



構造くん



環境に配慮して
植物油インキで
印刷しています。



見やすく読みまちがえに
くいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。